

関係者各位

## 赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、環境調査と並行し、赤潮・貝毒プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、赤潮発生の原因種であるアカシオ サンガイネア及びコクロディニウム ポリクリコイデスが最大0.12細胞/ml、最大0.02細胞/ml確認されました。前者は、基本的には無害なプランクトンですが、細胞数が急激に増加すると周囲を貧酸素状態にし、魚介類を弱らせてしまう可能性があります。後者は、細胞数の増加によって魚類の斃死を招く可能性があります。そのため今後、給餌作業の際などには注意をお願いします。

また、麻痺性貝毒の原因種であるアレキサンドリウム属が最大0.04細胞/ml、ギムノディニウム カテナータムが最大0.12細胞/ml確認されました。

今後、飼育魚や海色等に異常がみられる場合は、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡ください。

※(本日の調査は、海水100mlを1mlに濃縮し、プランクトンの検鏡を実施しています。)

| 採集地点<br>採水時間                                  | 水深   | 水温   | 塩分    | 溶存酸素   | アカシオ<br>サンガイネア | アレキサンドリウム属 | ギムノディニウム<br>カテナータム | コクロディニウム<br>ポリクリコイデス |
|---|------|------|-------|--------|----------------|------------|--------------------|----------------------|
|   | (m)  | (℃)  | (psu) | (mg/l) | (細胞/ml)        |            |                    |                      |
| <b>真珠</b><br>採水時間 9:10<br>透明度 15.5 m          | 0.0  | 21.0 | 34.2  | 6.7    | 0              | 0          | 0                  | 0                    |
| <b>藻津②(別図⑩)</b><br>採水時間 9:23<br>透明度 14.5 m    | 5.0  | 20.7 | 34.3  | 6.4    | 0              | 0          | 0                  | 0.02                 |
| <b>藻津①(別図⑨)</b><br>採水時間 9:29<br>透明度 12.6 m    | 0.0  | 20.9 | 34.2  | 6.6    | 0              | 0          | 0                  | 0                    |
| <b>大島中央①(別図⑤)</b><br>採水時間 9:41<br>透明度 12.6 m  | 5.0  | 20.2 | 34.6  | 6.1    | 0              | 0          | 0                  | 0                    |
| <b>小筑紫中央①(別図⑬)</b><br>採水時間 9:51<br>透明度 12.5 m | 10.0 | 20.3 | 34.6  | 6.4    | 0.03           | 0          | 0                  | 0                    |